

令和5年度 音楽Ⅰ 年間計画

教科	科目	単位数	学科・学年
芸術	音楽Ⅰ	2単位	普通科/園芸科・1学年

○通年の活動 音楽理論(楽典・楽曲の形式・作曲)とソルフェージュ(視唱・視奏・聴音)

学期	月	時数	題材	教材	内容
1	4	6	歌声を響かせよう	校歌 君に届くまで	・校歌の歌詞を覚えて歌えるようにする。
	5	6	イタリアの民謡や歌	我が太陽 Santa Licia	・イタリア語の言葉の特性と旋律やリズムに感心を持ち、言葉の抑揚や言語のもつ質感を捉えながら歌う表現力を身に付ける。
	6	8	郷土の音楽	三線 涙そうそう/安波節	・三線の基本的な奏法を身につけ、郷土の音楽への関心を高める。
	7	6	総合芸術	オペラ座の怪人 魔笛	・音楽と他の文化が互いにどのように影響し合って発展してきたかを考える。
2	9	8	世界のさまざまな音楽	さまざまな音楽(声) 世界の声の音楽	・諸民族のさまざまな声の音楽から音楽表現の多様性を知り、音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考える。
	10	8	混声合唱を美しく響かせよう	合唱曲	・混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌う。
	11	8	音楽史	西洋音楽史/日本音楽史	・西洋、日本の音楽の流れや音楽家の時代背景を調べ、レポートにまとめる。
	12	6	交響曲の魅力	交響曲第9番	・オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりするおもしろさを味わいながら聴く。
3	1	4	アンサンブルを楽しもう	Happy birthday to you クラッピングカルテット	・リズムや楽器の組み合わせを工夫し、表現を創意工夫する。
	2	6	コンサートを開こう	ソロやアンサンブル 任意の楽曲	・既習楽曲や新たに取り組む楽曲を発表する。
	3	4	学年のまとめ	学年の振り返り	・1年間の振り返りと反省を行い、次年度にいかす。

令和5年度 音楽Ⅱ 年間計画

教科	科目	単位数	学科・学年
芸術	音楽Ⅱ	2単位	普通科2学年

○通年の活動 音楽理論(楽典・楽曲の形式・作曲)とソルフェージュ(視唱・視奏・聴音)

学期	月	時数	題材	教材	内容
1	4	6	歌声を響かせよう	校歌 Tomorrow	・校歌を歌う。 ・親しみやすい楽曲を歌い、楽しみながら音楽活動への期待と学習意欲を高める。
	5	6	日本歌曲	我は海の子 からたちの花	・日本語の抑揚や語感、歌詞、旋律の流れやフレーズ、曲想に関心を持ち、個性豊かに歌唱表現する技能を身につける。
	6	8	郷土の音楽 旋律をつくろう	三線 涙そうそう/安波節/安里屋ユンタ 琉球音階を用いた創作	・三線の基本的な奏法を身につけ、弾き歌いができる。 ・グループで創作し、演奏する。
	7	6	物語と音楽	キャッツより「Memory」	・物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているかを考える。
2	9	8	交響曲	交響曲第40番	・オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題の展開されたり再現されるおもしろさを深く味わって聴く。
	10	8	混声合唱を美しく響かせよう	合唱曲	・混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌う。 ・個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。
	11	8	音楽史	西洋音楽史、日本音楽史	・西洋、日本の音楽の流れや音楽家の時代背景を調べ、レポートにまとめる。
	12	6	オーケストラの魅力	交響詩「ローマの松」	場面や物語を演出する音楽の効果、音楽に文化や絵画を結びつけた交響詩を、オーケストラの響きで味わおう。
3	1	4	クラスコンサートに向けて	ソロやアンサンブル 任意の楽曲	・既習楽曲や新たに取り組む楽曲を発表する。
	2	6			
	3	4	学年のまとめ	年間の振り返り	・各自の反省と課題をまとめる。

令和5年度 音楽Ⅲ 年間計画

教科	科目	単位数	学科・学年
芸術	音楽Ⅲ	2単位	普通科3学年

○通年の活動 音楽理論(楽典・楽曲の形式・作曲)とソルフェージュ(視唱・視奏・聴音)

学期	月	時数	題材	教材	内容
1	4	6	歌による表現力を身につけよう	Stand Alone/いい日旅立ち /Blowin' In The Wind/We Are The Champions	・曲想と歌詞の内容とのかかわりや、言語とリズムやフレーズとのかかわりなど、表現上の特徴
	5	8	表現のための技能を身につけよう	《50の小ソルフェージュ集》第1番 /女王のエチュード/発声練習/ソルフェージュ①②	・姿勢や体の使い方、呼吸法 ・旋律やリズムの聴き取り、模倣、読譜
	6	8	歌による表現力を身につけよう	浜辺の歌/砂山/初恋/霧と話した /ロマンチストの豚/Sento nel core/O del mio amato ben.../ ヴォカリーズ/An Silvia◇Sonntag	・独唱にふさわしい表現の工夫 ・歌と伴奏とのかかわり ・曲想と歌詞の表す心情とのかかわりや表現の特徴
	7	8	歌による表現力を身につけよう	宇宙戦艦ヤマト/You Raise Me Up/Ave Maria/鑑賞:《死んだ男 の残したものは》/モテット《ア ヴェ・マリア》	・各声部のかかわりや音の重なり、全体の調和 ・ポリフォニーやホモフォニーの表現効果 ・様々な表現形態による楽曲の特徴
2	9	14	器楽による表現力を身につけよう	The Pink Panther Theme/《3つの ジムノペディ》第1番 鑑賞:《水上の音楽》/《展覧会の 絵》	・各声部のかかわりや音の重なり、全体の調和 ・様々な表現形態、使用する楽器の音色や奏法などの特徴
	10	14	弾き歌いに挑戦しよう	めだかの学校/どんぐりころころ/ とんぼのめがね/いぬのおまわり さん/やぎさんゆうびん	・弾き歌いしながら人に聴かせたり、いっしょに歌ったりする場合の表現の工夫
	11	14	鑑賞力を伸ばそう	西洋音楽の鑑賞 世界の諸民族の音楽/伝統の中 の新しい波『リバーダンス』	・音楽の構造上の特徴と美しさとのかかわり ・生活や社会における音楽の役割
	12	12	表現意図をもって音楽をつくろう	ファンファーレをつくろう 「カンパネッラ」を使った音風景	・自分たちのイメージに基づきながら、様々な音素材の特徴を音楽表現に結び付ける工夫 ・反復、変化、対照などの構成を理解して、それらを用いる工夫
3	1	17	オペラ、オペレッタ、ミュージカルに親しもう	Nessun dorma!/メリー・ウィドウ・ ワルツ/All I Ask Of You 鑑賞:オペラ《トゥランドット》/オペ ラ《トスカ》/オペレッタ《メリー・ウィ ドウ》ミュージカル《オペラ座の怪 人》	・オペラ、オペレッタ、ミュージカルの文化的、歴史的背景の理解とそれぞれの表現上の特徴 ・総合的な芸術表現における音楽的な要素とそれ以外の要素とのかかわり
	2		4	学年のまとめ	年間の振り返り

令和5年度 音楽基礎 年間計画

教科	科目	単位数	学科・学年
芸術	音楽基礎	2単位	園芸科3学年

○通年の活動 音楽理論(楽典・楽曲の形式・作曲)とソルフェージュ(視唱・視奏・聴音)

学期	月	時数	題材	教材	内容
1	4	6	スタート!	校歌	・校歌を覚える。
	5	8	声の世界	日本の歌 世界の歌	・豊かな歌声をつくるための発声法や言葉の特徴を生かした表現力を身に付ける。
	6	8	郷土の音楽	三線 涙そうそう/安波節 四季の歌	・三線の基本的な奏法を身につけ、郷土の音楽への関心を高める。
	7	6	舞台芸術の世界	ボレロ 『ライオンキング』	・オーケストラの作品やミュージカルを鑑賞し、場面に応じた音楽の効果や構造を知る。
2	9	8	民族音楽	世界の声 世界の楽器	・民族音楽の種類や歴史・文化的な背景を知る。
	10	8	混声合唱の響きを求めて	合唱曲	・全員で協力して作り上げる合唱の充実感を味わう。
	11	8	音楽史	西洋音楽史/日本音楽史 ポピュラー音楽	・西洋、日本の音楽の流れや音楽家の時代背景を調べ、レポートにまとめる。
	12	4	季節の音楽	ハンドベル Amazing grace	・年末に演奏される楽曲にふれ、音楽文化を知る。
3	1	10	アンサンブルの楽しみ コンサートを開こう	風になりたい クラッピングカルテット ソロやアンサンブル、任意の楽曲	・リズムや楽器の組み合わせを工夫し、表現を工夫する。 ・既習楽曲や新たに取り組む楽曲を発表する。
	2	4	学年のまとめ	学年の振り返り	・1年間の振り返りと反省を行う。

令和5年度 保育ピアノ 年間計画

教科	科目	単位数	学科・学年
芸術	保育ピアノ	2単位	普通科3学年

○通年の活動 音楽理論(楽典・楽曲の形式・作曲)とソルフェージュ(視唱・視奏・聴音)

学期	月	時数	題材	教材	内容
1	4	6	ピアノに慣れよう	礎エクササイズ(長調)	・両手の指番号 ・長調のメロディーと和音
	5	8		基礎エクササイズ(短調) コード伴奏入門	・短調のメロディーと和音 ・コード進行(I、IV、V7)
	6	8	コード伴奏に挑戦	コード伴奏とメロディー	・簡易な楽曲をコードとメロディーで演奏する。
	7	6		任意の曲	・任意の曲を演奏する。
2	9	8	連弾、アンサンブル	連弾やアンサンブル	・人と合わせる感覚を身につける。
	10	8			
	11	8	弾き歌い	童謡・ポピュラーソング	・簡易な伴奏で弾き歌いができる。
	12	4			
3	1	10	自分で伴奏をつくろう	任意の楽曲	・任意の曲にコード付を行い演奏する。
	2	4	学年のまとめ	年間の振り返り	・各自の反省と課題をまとめる。

沖縄県立久米島高等学校

令和5年度 年間指導計画		科・コース	普通科園芸科	学年	1	教科	芸術	科目名	美術 I	単位	2	
教科目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の動きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。											
美術 I	月	題材名	4・5	5・6・7	7	9	9・10・11	12・1・2	2・3	総時数		
			色彩の基礎	タ久米高祭のボス ーデザイン	合暑中見舞い(響き ー絵)	鑑賞(祈りの形)	鉛筆デッサン	卒業壁画	写真表現			
		時数	12	12	4	4	16	16	12	76		
A 表現	絵画・彫刻	ア	(ア)	自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成すること。			○		○		絵画・彫刻	
			(イ)	表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ること。			○		○			
		イ	(ア)	意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。			○		○			
			(イ)	表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表すこと。			○		○			36
	デザイン	ア	(ア)	目的や条件、美しさなどを考え主題を生成すること。	○	○					デザイン	
			(イ)	デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ること。	○	○						
		イ	(ア)	意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。	○	○						
			(イ)	表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表すこと。	○	○						24
	映像メディア	ア	(ア)	感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に、映像メディアの特性を生かして主題を生成すること。						○	映像メディア	
			(イ)	色光や視点、動きなどの映像表現の視覚的な要素の動きについて考え、創造的な表現の構想を練ること。						○		
		イ	(ア)	意図に応じて映像メディア機器等の用具の特性を生かすこと。						○		
			(イ)	表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表すこと。						○		12
B 鑑賞	鑑賞	ア	(ア)	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。			○	○	○	○	鑑賞	
			(イ)	目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。	○	○		○		○		
			(ウ)	映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めること。					○	○		
		イ	(ア)	環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、自然と美術との関わり、生活や社会を心豊かにする美術の動きについて考え、見方や感じ方を深めること。	○	○	○	○	○	○		
			(イ)	日本及び諸外国の美術作品や文化遺産などから美意識や創造性などを感じ取り、日本の美術の歴史や表現の特質、それぞれの国の美術文化について考え、見方や感じ方を深めること。	○	○	○	○	○	○		4
共通事項	(1)	ア	造形の要素の働きを理解すること。	○	○	○	○	○	○			
		イ	造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解すること。	○	○	○	○	○	○			

令和5年度 年間学習指導計画

県立久米島高等学校

教科名〔芸術〕 科目名〔美術Ⅲ〕 学年〔3年・普通科〕 単位数〔3〕

学期	月	単元名	指導目標	指導内容	指導上の工夫・留意点	時配	
1 学期	4	オリエンテーション 【全般】	・年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持つ。	・年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持たせる。	・道具の準備片付け、安全について説明する。	1	
	5	基本練習 【全般】	・鉛筆、絵の具、筆、カッターの基本的な使い方と安全について理解する	・鉛筆、絵の具、筆、カッターの基本的な使い方と安全について理解させる。	・絵具や筆などの使い方について手本を示す。	7	
	6					7	グラフィックデザイナー 【表現・デザイン】 【鑑賞・デザイン】
2 学期	9	彫刻家 【表現・彫刻】 【鑑賞・彫刻】	・表情や動きなどを感じ取り、生命感や存在感のある立体で表現する。 ・グループで調べ学習を行い、レイアウトやレタリングを意識した表現でまとめ発表する。	・表情や動きなどを感じ取り、生命感や存在感のある立体を制作させる。 ・文字と絵を組み合わせてプレゼンボードに仕上げさせる。	・多方向からのスケッチを行い立体制作にいかす。 ・学んだ技術や表現方法を活用した制作を意識させる。	2 6	
	10					11	絵本画家 【表現・絵画】 【鑑賞・絵画】
	12	写真家 【表現・映像メディア表現】 【鑑賞・映像メディア表現】	・個人で決めたテーマをもとにデジタルカメラで撮影しプリントする。 ・撮影した写真を鑑賞し、意見や感想をまとめる。	・カメラの操作方法を体験させた後に、撮影に取り組ませる。 ・テーマに合わせた写真を選択しコンセプトを記入させる。	・数多く撮影した中から、テーマに合った写真を選び出させる。 ・テーマと写真に関連性についてまとめさせる	2 0	
1	2					3 学習のまとめ	・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表する。

令和5年度 年間学習指導計画

県立久米島高等学校

教科名〔芸術〕 科目名〔美術基礎〕 学年〔3年・園芸科〕 単位数〔2〕

学期	月	単元名	指導目標	指導内容	指導上の工夫・留意点	時配
1 学期	4	オリエンテーション 【全般】	・年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持つ。	・年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持たせる。	・道具の準備片付け、安全について説明する。	1
	5	基本練習 【全般】	・鉛筆、絵の具、筆、カッターの基本的な使い方と安全について理解する	・鉛筆、絵の具、筆、カッターの基本的な使い方と安全について理解させる。	・絵具や筆などの使い方について手本を示す。	3
	6	希望をかたちに 【表現・デザイン】 【鑑賞・デザイン】	・伝えたい内容を、イラストや写真・文字などを組み合わせてポスターを表現する。	・イラストのタッチやレタリングの組み合わせを思考させ表現につなげる。	・参考作品や資料を示す事でテーマにそった絵や文字のイメージを膨らませる。	24
	7					
2 学期	9	日常を写す 【表現・映像メディア表現】 【鑑賞・映像メディア表現】	・個人で決めたテーマをもとにデジタルカメラで撮影しプリントする。	・カメラの操作方法を体験させた後に、撮影に取り組ませる。	・数多く撮影した中から、テーマに合った写真を選び出させる。	5
	10		・撮影した写真を鑑賞し、意見や感想をまとめる。	・テーマに合わせた写真を選択しコンセプトを記入させる。	・テーマと写真を関連性についてまとめさせる。	
	11	想像する力 【表現・絵画】 【鑑賞・絵画】	・デカルコマニーなどのモダンテクニックの技法を習得し絵画の制作にいかす。 ・感じたことや考えた事を文字でまとめ発表する。	・技法や素材の効果を確認しながら作品制作に移らせる。 ・自分の作品について考えをまとめ、他の生徒の作品について感じた事や考えた事を文字でまとめる。	・技法や素材の練習を重ねて作品制作に移らせる ・偶然と意図を持った制作の違いに注目させる。	23
	12					
3 学期	1	食べ物をつくる 【表現・彫刻】 【鑑賞・彫刻】	・樹脂粘土特性をいかして立体を制作する。	・絵の具の練り込みや成形の工夫をグループで工夫させる。	・工夫をワークシートにまとめさせる。	13
	2		・用途の視点から意見や感想をまとめる。	・手に取って様々な方向から鑑賞する。	・美と用の観点を意識してまとめさせる。	
	3	学習のまとめ	・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表する。	・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表させる。	・生徒がお互いに意見交換できるように促す。	1

令和5年度 年間学習指導計画

県立久米島高等学校

教科名〔芸術〕 科目名〔美術総合〕 学年〔3年・普通科〕 単位数〔2〕

学期	月	単元名	指導目標	指導内容	指導上の工夫・留意点	時配
1 学期	4	オリエンテーション 【全般】	・年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持つ。	・年間の授業内容を説明し、授業の見通しを持たせる。	・道具の準備片付け、安全について説明する。	1
	5	基本練習 【全般】	・鉛筆、絵の具、筆、カッターの基本的な使い方と安全について理解する	・鉛筆、絵の具、筆、カッターの基本的な使い方と安全について理解させる。	・絵具や筆などの使い方について手本を示す。	3
	6	希望をかたちに 【表現・デザイン】 【鑑賞・デザイン】	・伝えたい内容を、イラストや写真・文字などを組み合わせてポスターを表現する。	・イラストのタッチやレタリングの組み合わせを思考させ表現につなげる。	・参考作品や資料を示す事でテーマに合った絵や文字のイメージを膨らませる。	24
	7					
2 学期	9	日常を写す 【表現・映像メディア表現】 【鑑賞・映像メディア表現】	・個人で決めたテーマをもとにデジタルカメラで撮影しプリントする。	・カメラの操作方法を体験させた後に、撮影に取り組ませる。	・数多く撮影した中から、テーマに合った写真を選び出させる。	5
	10		・撮影した写真を鑑賞し、意見や感想をまとめる。	・テーマに合わせた写真を選択しコンセプトを記入させる。	・テーマと写真を関連性についてまとめさせる。	
	11	想像する力 【表現・絵画】 【鑑賞・絵画】	・デカルコマニーなどのモダンテクニックの技法を習得し絵画の制作にいかす。 ・感じたことや考えた事を文字でまとめ発表する。	・技法や素材の効果を確認しながら作品制作に移らせる。 ・自分の作品について考えをまとめ、他の生徒の作品について感じた事や考えた事を文字でまとめる。	・技法や素材の練習を重ねて作品制作に移らせる ・偶然と意図を持った制作の違いに注目させる。	23
	12					
3 学期	1	食べ物をつくる 【表現・彫刻】 【鑑賞・彫刻】	・樹脂粘土特性をいかして立体を制作する。	・絵の具の練り込みや成形の工夫をグループで工夫させる。	・工夫をワークシートにまとめさせる。	13
	2		・用途の視点から意見や感想をまとめる。	・手に取って様々な方向から鑑賞する。	・美と用の観点を意識してまとめさせる。	
	3	学習のまとめ	・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表する。	・学習のまとめを行い、思い出に残っていることや感想などを発表させる。	・生徒がお互いに意見交換できるように促す。	1

令和4年度「実用の書」年間指導計画	単位数	2単位	
	使用教科書	書I 38 光村 書I 308	

月	時数	単元	主な学習内容・教材
4	6	導入	・オリエンテーション 「書」について
5	12	漢字の書	【楷書】・漢字の変遷と書体
6	8		【行書】・行書の基本
7	8		【草書】・「真草千字文」
9			【隸書】・「曹全碑」
10	6		
11	8	仮名の書	・仮名の成立と種類 ・古筆に見る表現技法 ・基本的な筆使い ・平仮名 ・変体仮名
12	6		
1	6	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書について
2 3			